

クラスだより

～織笠保育園わんぱくZOO～

社会福祉法人 三心会 織笠保育園 織笠保育園 平成24年2月7日 発行



各クラスの様子



いぬ・ぞう組



暦の上では春ですが、寒い日が続き、暖かい春の日差しはまだ先ようです。先日行われた、保育参観にはお忙しい中たくさんの保護者の方々にお越しいただきありがとうございました。最初は緊張していた子どもたちも、気分はハイテンション!(^^)!しかし、朝の活動やゲームあそびなど、いつもの姿で取り組み、お父さん、お母さんが来てくれて、一緒に遊んでくれたことが嬉しいといった様子でした。

当初、予定になかった『女々しくて』の踊りは、子どもたちからの提案で『お母さんたちにサプライズでみせようよ\(^o^)/』ということで決まりました。『来てくれてありがとう』の子どもたちからのメッセージ・・・楽しんでいただけましたでしょうか?また温かい感想をお寄せいただきありがとうございます。

感染症が心配される中、出席率もよく外での雪遊びを満喫した1月でした。かまくらづくり、そりすべり、etc・・・異年齢児とのかかわりも自然にできて、お世話してあげる姿も見られたりお兄さん、お姉さんとしても成長を感じています。

進級、就学まであと2か月・・・文字・かず・めいろドリルへの取り組み、卒園製作、送る会への準備等、いぬぐみもぞうぐみも忙しくなり、色々とまとめの時期にはいりましたが、体調面に留意し、友だちと共通の目的にむかって取り組み、充実した生活を送れるようにしたいと思います。



いす・ちびりす組



年が明け早くも1か月が過ぎました。みずき団子づくりに始まり、保育参観もあり今週は個人面談とお忙しい中、各行事にご参加頂きありがとうございました。

1月に降った雪のおかげで、たくさん雪遊びができました。初めは雪を怖がる子、深い新雪におそろおそろ足を踏み入れる子、手足がかじかみ直ぐに「寒い」と中に入ろうとする子もいましたが、何度か遊んで行くうちに一人ひとりの楽しみ方を見つけていました。また、年長・年中児が作ったかまくらや雪山の滑り台で遊ばせてもらったり、ソリに乗せてもらい引いてもらったりと、異年齢で関わりながら遊ぶ姿も見られています。他の遊びも自分の気の合う友達と以前より長く遊びを楽しんだり、いろんな言葉を交わしながらままごとなど役になりきって遊びを展開させたりと、春に比べるとたくさんの成長が見られてきています。

また体力づくりや運動遊びも積極的に行いながら、冬場の運動不足にならないように取り組んでいます。ホールでは(うさぎ跳び・あひる歩き・手押し車)などの運動遊び、戸外では雪遊びやブログでも紹介した坂道を競争したりと無理のないように職員も一緒になって取り組んでいます。

来月は3月と早いもので年度末となります。今週からはいよいよ「年長児を送る会」の出し物の練習を始めました。インフルエンザなどの感染症に気をつけながら残りの2カ月を元気に過ごしていきたいと思っています。今後よろしくお願い致します。



あひる組



寒い寒い年明けです。1月は胃腸炎や発熱、咳、鼻水で体調を崩すお友達が多く、全員がそろそろという日が少なかったです。それでも保育参観には4名のお友達が参加して、新聞紙をビリビリとやぶき、赤、青、のカラーポリ袋にたくさん積めて、大きな赤オニと青オニを作る事ができました。カラーボールを出来上がった鬼の箱に入れるゲームをみんなで楽しみました。

2月に入り、新しいお友達が2名増え、男5名女3名計8名のあひる組になりました。賑やかに毎日楽しんで遊んでいます。

ソリ滑りや雪だるま作り、スコップで雪掘り、、、また、雪が降ったら園庭に出てみんなで遊びたいですね!!!

